



平成28年11月14日

各 位

会 社 名 昭和ホールディングス株式会社  
代表者名 代表取締役社長 重田 衛  
(コード番号 5103 東証第二部)  
問合せ先 取締役財務総務担当 庄司 友彦  
(TEL. 04-7131-0181)

## 個別業績の前年実績値との差異に関するお知らせ

当社は、個別業績予想につきまして、当社グループ全体の業績及び財政状況に与える影響が大きいと考えていることから、その公表を行っておりませんが、平成29年3月期第2四半期の個別業績値と前期実績値の差異が開示基準に抵触いたしましたので、以下の通りお知らせいたします。

### 記

#### 1. 平成29年3月期第2四半期個別業績と前期実績との差異（平成28年4月1日～平成28年9月30日）

	売上高	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前期実績(A)	170百万円	▲22百万円	▲185百万円	▲3.80円
当期実績(B)	129百万円	▲74百万円	▲73百万円	▲1.07円
増減額(B-A)	▲41百万円	▲52百万円	112百万円	—
増減率(%)	▲24.03%	—	—	—

#### 2. 前期実績との差異理由

平成29年3月期第2四半期の実績につきましては、売上高は41百万円減少（▲24.03%）し129百万円となりました。これは主に、持分法適用関連会社の原材料の代行輸入業務等を行っていたものの、商流の変更に伴い当該代行輸入を行わなくなったことによる減少であります。

経常利益につきましては、減収に伴う減益要素に加え、主に賃貸売上に係る地代が増加したことから、前期と比較しますと52百万円の減益となり、▲74百万円となりました。

また、当期純利益につきましては、前期は減損損失の計上といった減益要因が発生しておりましたが、当期はそのような特殊要因はありませんでしたので、前期と比較しますと112百万円の増益となり、ほぼ経常利益の金額がスライドする形の▲73百万円となりました。

当社といたしましては、今後も既存事業の強化と共に、ASEAN展開、新規分野進出などの積極的な事業展開を進め、短期的な視点に拘泥せず、中長期的に業績を成長・拡大させていく方針です。

以上